



どんな学校？

課程：全日制専門学科（農業）

令和4年に創立116年目を迎える伝統のある農業高校です。園芸科学科は野菜、果樹、草花の栽培や造園などについて、畜産科学科は家畜の飼育や管理、乳加工・肉加工技術について、農業総合科は食品製造や、付加価値の高い農業経営能力の実現をめざして学習しています。各科とも実験・実習を中心とした体験的な学習で実践力を身に付けています。



どんなメンバー？

学校

園芸科学科の生徒・教員
地域連携部会担当教員

地域

公益財団法人
相模メモリアルパーク
県立愛川高校



どんな団体？

＜公益財団法人 相模メモリアルパーク＞
愛川町三増にある霊園で、良質な墓地を開発・提供及び管理等を行っています。

＜神奈川県立愛川高等学校＞
相模メモリアルパーク近隣にある連携型中高一貫校であり、愛川町立3中学校と連携しながら多様な教育活動を展開しています。コミュニティ・スクールとして地域に開かれた教育課程を先取りし、地域社会に貢献できる人づくりをめざしています。



はじめたきっかけは？

本校は、園芸科学科・畜産科学科・農業総合科の3つの専門学科があり、それぞれの学科における学習活動の成果物（これまで育てた野菜や草花、食品加工品）を地元の方に販売したり、コサージュの制作指導を他校で行ったり、学習をとおして得た技術を活かした取組を行ってきました。

そんな中、県立愛川高校の地域連携サークルの生徒から相模メモリアルパークの環境整備を行うために、本校で育てた花の苗を使用したいと依頼されました。

本校生徒の成果物を、地域だけでなく、同じ県立高校の生徒に役立てることができる良い機会であるとともに、本校のスクール・ポリシーである、地域や社会の健全で持続的な発展を支える意識及び態度を身に付ける機会と感じ提供することとしました。



すくコミ!

～コミュニティスクール事例集～



学校名

中央農業高等学校①

活動名

地域連携部会
花の苗の提供

神奈川県教育委員会教育局
指導部高校教育課高校教育企画室



この冊子はホームページにも記載しています →

取組紹介

取組内容

時数	内容
1	愛川高校からの依頼を園芸科学科で受けることに決定
2	相模メモリアルパークと相談し、花を選定
3	花の苗の育成と提供
4	地域貢献の経験を生かして、生徒の学びを広げる



1 HOP

2021年10月

愛川高校の先生から、愛川高校が実施するボランティア活動で、中央農業高校の生徒が育てた花を使いたいと依頼があり、園芸科学科が動き出す。



2 STEP

2021年12月

作業する人が高校生のため、植えやすい花を選ぶ。
冬の時期を彩るパンジー・ビオラ、春はマリーゴールド・ペチュニアなど、季節に沿った花壇苗にする。

3 JUMP

2021年12月

より綺麗で丈夫な状態にするために、販売前日は水を十分にあげたり、害虫が付かないように工夫。また、肥料をあげ、長持ちするようにした。

2022年度は5回販売予定



4 FLY

生徒が学習の中で身に付けた成果をもっと地域に還元したり、県立学校間の連携を深めていきたい。

成果物（花）を提供するだけでなく、育て方や扱い方など、知識や技能を生かした取組をすることで生徒の学びを広げたい。

生徒の感想

試行錯誤して育てた花を綺麗に飾ってもらい、また地域貢献できたことを嬉しく思います。多くの人に元気を与えられることに誇りをもって今後も花を育てたいと思いました。

地域の感想

- ・相模メモリアルパーク施設を利用された方から綺麗な花だと大好評でした。
- ・愛川高校自分たちと同じ高校生が育てた花だと思うと、一層大切にしたいと思いました。

先生の思い

生徒の成果物や技術の高さを地域や他校に知ってもらい、生徒の学びが広がるといいなあ。